

機械器具 55 歯科用口腔洗浄器 JMDN コード 12304020

一般医療機器

オサダマルチシリンジ

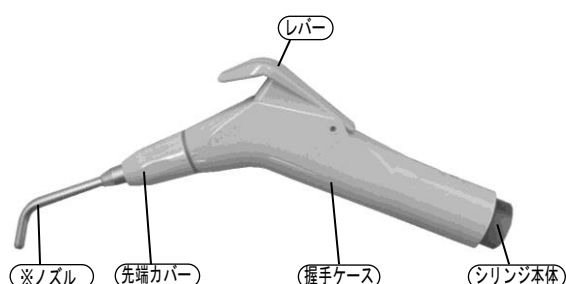
（MS-F）

【警告】

- 奥まで確実にノズルを挿入してから、先端カバーを閉めること。ノズルを強く引き、抜ける場合はノズルを挿入し直すこと。やり直しても、ノズルが抜けるものは使用しないこと。
[ノズルが口腔内に落下し、飲み込む恐れがある]
- 1 分以上連続で使用する際は、ヒーターを OFF にすること。
[ノズル、先端カバー部が熱くなり、火傷の恐れがある]
- ヒーターを ON にした状態でエアーの ON-OFF を頻繁に繰り返さないこと。[発熱が大きくなり火傷の恐れがある]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状



- 全長：167 mm
- 質量：85 g

2. 仕様

電源電圧	交流 14 V
電源入力	最大 2 A
エアー圧	0.29 MPa
水圧	0.15 MPa

※詳細については、取扱説明書 4. 仕様を参照すること。

3. 使用環境条件

下記条件にて使用すること。（但し、結露しないこと）

周囲温度	10—40 °C
相対湿度	30—75 %
気圧	700—1060 hPa

【使用目的又は効果】

歯科治療において歯科用ユニットに接続し、以下の治療に用いる。

- 補綴物装着時の補綴物の乾燥及び歯牙の乾燥・清掃
- 歯牙切削時の口腔内の清掃及び切削粉の除去
- 歯牙の処理時の窩洞の乾燥及びストップングの除去時の乾燥
- 診断時の歯牙の冷却
- 充填時の歯牙の乾燥
- 印象時の歯牙及び窩洞の乾燥
- その他、ミラー（歯鏡）の曇り除去

【使用方法等】

1. 使用方法

機器の詳細な使用方法は、使用前に必ず取扱説明書 7. 操作方を参照すること。

1) 使用前の準備

- ノズルの取付け
- シリンジ本体と握手ケースの接続
- ハンドピースとマルチシリンジ F ホースの接続

2) 使用前の点検

- ハンドピースとマルチシリンジ F ホースの接続確認
- シリンジ本体と握手ケースの接続確認
- ノズルの保持力確認及び回転確認
- 注水量の調節及び確認
- エアーの調節及び確認
- スプレーの調節及び確認

3) 操作

- エアー・注水・スプレー・エアーのオン・オフ

4) 使用後の処理

- ハンドピースとマルチシリンジ F ホースの取外し
- シリンジ本体と握手ケースの接続
- ノズルの取外し
- 清掃・保守

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- シリンジ本体と握手ケースを取付ける際は、握手ケース内の水をよく拭き取ること。
- シリンジ本体と握手ケースを取付ける際は、確実にロックされたことを確認すること。
- ノズル溝にゴミ等が溜まったノズルは使用しないこと。
- 規定圧力以下、またはユニットのエアー元コックを閉めたまま使用をしないこと。
- ホットエアー使用後に握手ケースを取外す場合は、ユニットのヒータースイッチを切り、エアーを流してヒーター部を冷やしてから行うこと。
- ハンドピースとマルチシリンジ F ホースを取外す際は、ユニットのエアー元コック、水元コックを閉めてから外すこと。
- ノズルの着脱が重くなった場合は、ノズル O リング A 及び先端ノズル O リングに付属のシリコングリスを塗布すること。
- シリンジ本体の着脱が重くなった場合は、水継手 O リングに付属のシリコングリスを塗布すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

下記条件にて保管すること。（但し、結露しないこと）

周囲温度	-10—60 °C
相対湿度	10—90 %
気圧	700—1060 hPa

2. 耐用期間

製造出荷の日から、正規の使用方法、保守点検を行った場合に限り 7 年間。（自己認証による）

※ノズルは消耗品です。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【保守・点検に係わる事項】

機器の詳細な保守・清掃・消毒・滅菌方法は、使用前に必ず取扱説明書、保守・清掃・消毒・滅菌マニュアルを参照すること。

1. 清掃・消毒・滅菌

○：適用可 ×：適用不可

	清掃	消毒	滅菌			浸漬
	中性洗剤水拭き	エタノール清拭	E0G滅菌	高圧蒸気滅菌	135℃以下の乾燥工程	7ℓカリ水酸性水エタノール
握手ケース	○	○	○	○	○	×
先端カバー	○	○	○	○	○	×
シリンジ本体	○	×	○	×	×	×
ノズル	○	○	○	○	○	×

オートクレーブ滅菌上の留意事項

- 1) 握手ケースをオートクレーブ滅菌する際は、必ず先端カバーを緩め、先端カバーと握手ケースの間に1mm以上の隙間を空けること。
- 2) 握手ケースをオートクレーブ滅菌する際は、他のものと一緒に滅菌バッグに入れないこと。
- 3) 握手ケースを立ててオートクレーブ滅菌する場合は、先端カバー側を上にして滅菌すること。
- 4) オートクレーブ滅菌が終わったらノズル、先端カバー、握手ケースは取り出すこと。長時間オートクレーブ機器の中に入れて放しにしないこと。各部品へのダメージがあり寿命を縮める原因となる。

2. 保守・点検

1) 使用者による保守点検事項

長期保管した場合は、使用前に十分点検を行ってから使用すること。

点検頻度	点検項目(概略)
使用前	ハンドピースとマルチシリンジFホースを引っ張り、接続確認
	シリンジ本体と握手ケースを引っ張り、接続確認
	ノズルを引っ張り、保持力確認及び回転
	レバーによる注水量の調節及び確認
	レバーによるエアーの調節及び確認
	レバーによるスプレーの調節及び確認
	水切れ・水漏れ確認

2) 業者による保守点検事項

使用者による保守点検事項と同様。
不具合が生じた場合に、点検を実施する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者/製造業者/設計業者

： 長田電機工業株式会社

TEL（本社）： 03-3492-7651

ホームページ： <http://www.osada-group.jp/>

取扱説明書を必ずご参照下さい。